

# 小野市職員検定

- ① 「行政経営 4 つの柱」は、「顧客満足度志向」「」「オンリーワン」「後手から先手管理」である
- ② 「市長への手紙」の狙いは、『市民の意見を市政に反映させる』ことと『職員の問題解決能力の醸成と「」』である
- ③ 固定資産税における宅地の評価は、地価公示価格・鑑定価格等の「」割を目安とされている
- ④ 財政需要に対する収入の割合で、財政の自主性等を計る指数を「」指数という（H26 小野市：0.68、H26 全国平均：0.47、H26 兵庫県平均：0.60）
- ⑤ 平成 25 年度から自治会役員に女性を 2 人以上登用する自治会に対して 10 万円を補助する自治会役員「」推進事業を実施している
- ⑥ 昨年 9 月に、小野市不法投棄防止条例を制定し、小野市と小野市議会の連名による「」都市宣言を行った
- ⑦ 高齢者の経験や技能などを活かし、様々な分野で活動するグループの起業を支援する「」モデル事業を創設
- ⑧ 空き家と遊休農地の活用のため、移住・定住者を対象に農地の取得要件を緩和した「」制度を創設した
- ⑨ 14 万人を集客する小野まつりでは、県内陸部で最多の 5000 発の花火を打ち上げ、県内最大級のダンスイベント「」が開催される
- ⑩ 年間 3 万 5 千人が訪れる小野アルプスは、市内最高峰 惣山（198.9m）を含む 8 つの山が連なり、西の「」（182.8m）は、一番の人気スポットである

## 《答え》

- ①成果主義    ②意識改革    ③7    ④財政力    ⑤女性参画
- ⑥不法投棄を許さない    ⑦シニアサポート    ⑧空き家付農地
- ⑨おの恋おどり    ⑩紅山